

書 面 決 議 結 果

令和2年度 第1回小坂町地域公共交通会議における書面決議について

表決日 令和2年6月29日

1 協議案件

第1号 自家用有償旅客運送（市町村運営有償運送）の更新について【承認】

賛成：9人、 反対：0人、 どちらでもない：1人

意見・質問等	回答・対応等
なし	—

第2号 小坂町地域内フィーダー系統確保維持計画の承認について【承認】

賛成：9人、 反対：0人、 どちらでもない：1人

意見・質問等	回答・対応等
「1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性」について、「様々な問題が発生している」とあるが、「様々な問題」に具体的に踏み込んだ表現とした方が、町民および関係者間での課題共有に繋がるのではないか。	「利用者の減少による様々な問題」について、下記の内容が挙げられるため、これらを盛り込んだ表現を検討します。 ・利用者の声が反映されにくい。 ・より利便性の高い運行ダイヤやバス停の設置、運行経路の変更の検討がされにくい。 ・利便性や運行サービスの向上の実施に繋がりにくく、それにより利用者の増加に繋がらない悪循環となる。
「3.2. の目標を達成するために行う事業」でR1.10に開始した運転免許証返納支援を挙げているが、乗車券の交付および使用状況はどうか。	小坂町運転免許証自主返納支援事業の交付実績は、R1.10～R2.3：8人、R2.4～R2.6：2人となっており、うち4名の方が実際に割引券を使用しております。
「13. 車両の取得に係る目的・必要性」で野口線のマイクロバス車両の更新計画が挙げられている。少なくともここ数年、県内でフィーダーの車両補助を活用した例がないことから、東北運輸局とも相談の上、慎重に計画を進めていただきたい。	現在、車両の取得に向け順次準備を進めております。補助申請につきましても、東北運輸局へ事前の確認、相談の上、慎重に進めてまいります。
「14. 車両の取得に係る定量的な目標・効果」で野口線の収支率を9%から12%以上に向上とある。乗車人数目標は現状維持となっていることから、今回の車両更新によって運行経費が縮減し、3%以上の収支改善につながると考えてよいか。	R1年度（H31.4～R2.3）は、新型コロナウイルスの影響により、乗車実績が大幅に減少し、経常収入である運賃収入が減少したため、直近年度の収支率は9%となっております。H30年度の収支率は11%であり、R1年度も新型コロナウイルスの影響がなかった場合では、10～11%の収支率と見込まれます。乗車人数の多くを占める小学生は運賃無料となっており、少子化とともに小学生の乗車人数は減少する見込みですが、「3.2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体」に記載の利用促進の取り組みにより、「大人」の乗車人数を増加させることで、乗車人数の維持、運賃収入の増加を図り、収支率1～2%の改善を目指すものです。

第3号 小坂町地域公共交通会議設置要綱改正について【承認】

賛成：9人、 反対：0人、 どちらでもない：1人

意見・質問等	回答・対応等
なし	—